

栃木市監査委員告示第6号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定例監査を、都市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり公表いたします。

令和2年3月2日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 茂 呂 健 市

1. 監査の実施日 令和2年2月20日

2. 監査の対象 建設部

道路河川整備課 道路河川維持課

土木管理課 公園緑地課

3. 監査の方法

令和2年1月末日までに執行された事務事業について、関係する帳簿類、証ひょう書類の提出を求め、その効率性と適法性等を照査、検討し、関係職員の説明を聴取して実施した。

4. 監査の結果

次のとおり

建設部

◎ 道路河川整備課

1. 事務組織及び職員

道路河川整備課には5係が置かれ、課長ほか21名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

企画調整係では、各種協議会・同盟会関係事務、バリアフリー推進事業、急傾斜地崩壊対策負担金事業等が行われた。

道路整備第1係では、用地及び補償関係事務、登記関係事務、市道各号線道路改良事業、市道各号線交通安全施設整備事業等が行われた。

道路整備第2係では、用地及び補償関係事務、登記関係事務、市道各号線道路改良事業等が行われた。

河川整備係では、排水路整備事業、清水川支川分水路整備事業、雨水浸水対策事業等が行われた。

スマートIC整備係では、スマートIC整備事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額458,213,000円に対し、収入済額135,088円で0.03%の収入率である。

その内容は、道路事業用地占用料である。

一般会計の歳出は、予算現額1,212,715,000円に対し、支出負担行為額581,668,966円で47.96%の執行率である。

その主なものは、市道各号線道路改良工事請負費、用地取得に伴う物件移転等補償金、踏切拡幅改良工事業務委託料である。

一般会計の歳入(繰越明許)は、予算現額166,847,000円に対し、収入はない。

一般会計の歳出(繰越明許)は、予算現額415,841,000円に対し、支出負担行為額398,400,771円で95.81%の執行率である。

その主なものは、道路改良工事費、物件移転等補償金、河川改修計画検討業務委託料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 道路河川維持課

1. 事務組織及び職員

道路河川維持課には3係が置かれ、課長ほか24名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

道路河川維持第1係及び道路河川維持第2係では、市道維持管理事業、生活道路舗装補修事業、市道各号線交通安全施設整備事業、通学路安全施設整備事業、樋管操作委託事業、河川維持補修事業、河川・水路清掃事業、アダプト制度実施事業、災害復旧事業等が行われた。

道路長寿命化係では、橋梁長寿命化修繕事業、舗装修繕事業、橋梁長寿命化点検事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 526,862,000 円に対し、収入済額 1,536,247 円で 0.29% の収入率である。

その主なものは、樋管操作委託金である。

一般会計の歳出は、予算現額 4,729,521,000 円に対し、支出負担行為額 993,340,496 円で 21.00% の執行率である。

その主なものは、樹木管理業務委託料、市道舗装補修業務委託料、橋梁長寿命化修繕計画改訂版策定業務委託料、市道 2074 号線吾妻橋改修工事費、生活道路舗装補修工事費、災害復旧詳細設計業務委託料、防災及び災害復旧に関する協力業務委託料（土砂撤去等）である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額 52,653,000 円に対し、支出負担行為額 52,652,400 円で 100.00% の執行率である。

その内容は、市道 2074（O156）号線吾妻橋（下部）改修工事費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 土木管理課

1. 事務組織及び職員

土木管理課には2係が置かれ、課長ほか9名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

土木管理係では、道路台帳整備事業、道路台帳等証明関係事務、占用関係事務、県道移管に伴う道路台帳整備事業等が行われた。

公共物管理係では、市有財産等管理事務、土木施設管理事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 29,880,000 円に対し、収入済額 30,345,878 円で 101.56%の収入率である。

その主なものは、道路占用使用料である。

一般会計の歳出は、予算現額 35,889,000 円に対し、支出負担行為額 32,057,359 円で 89.32%の執行率である。

その主なものは、道路台帳補正業務委託料、道路台帳整備に係る測量業務委託料である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。

◎ 公園緑地課

1. 事務組織及び職員

公園緑地課には3係が置かれ、課長ほか9名でそれぞれ事務を分掌している。

2. 事務事業の実施状況

公園緑地整備係では、栃木総合運動公園施設整備事業、国民体育大会関連施設整備事業、公園災害復旧事業等が行われた。

総合運動公園維持係では、つがの里管理運営事業、栃木総合運動公園管理運営委託事業、藤岡渡良瀬運動公園管理事業、岩舟総合運動公園管理運営委託事業、大平運動公園管理事業、西方総合公園管理事業等が行われた。

地域公園維持係では、都市公園等管理事業、太平山県立自然公園施設整備事業、都市公園等バリアフリー化改修事業等が行われた。

3. 予算の執行状況

一般会計の歳入は、予算現額 64,620,000 円に対し、収入済額 14,506,742 円で 22.45%の収入率である。

その主なものは、公園自動販売機設置収入である。

一般会計の歳出は、予算現額 766,473,000 円に対し、支出負担行為額 490,697,022 円で 64.02%の執行率である。

その主なものは、公園施設光熱水費、公園維持管理等業務委託料、栃木市総合運動公園指定管理委託料、栃木市総合運動公園北駐車場トイレ改修工事費・総合体育館給排水設備更新工事費、公園災害復旧工事費である。

一般会計の歳出（繰越明許）は、予算現額 6,296,000 円に対し、支出負担行為額 6,072,000 円で 96.44%の執行率である。

その内容は、うずま公園多目的トイレ整備工事費である。

なお、予算の執行は適正に行われており、その関係する帳簿、書類等は適正に処理されていた。